

<b>市場・生産者評価の高いピンク系グラジオラス新品種「常陸はなよめ」</b>		
[要約] 「常陸はなよめ」は、花色がピンクで白の条斑とぼかしが入る大輪系品種で、季咲き栽培における到花日数は 95 日程度である。ピンク系の主力品種「トラベラ」よりも栽培特性、球根増殖率、市場評価、生産者評価のいずれも優れている。		
農業総合センター 生物工学研究所・園芸研究所	成果 区分	普及

### 1. 背景・ねらい

茨城県のグラジオラスは球根生産、切り花生産でそれぞれ全国 1 位、2 位を占める重要な花き品目となっている。近年の消費低迷や輸入球根の自由化に対応し産地の活性化を図るため、新たな商材として利用できる県オリジナル品種を育成する。

### 2. 成果の内容・特徴

- 1) 「常陸はなよめ」は、平成 11 年に「富士の雪」を種子親、「ハイスタイル」を花粉親として交配し、得られた 135 の実生個体から、花色、草姿などを指標に選抜した品種である (図 1)。
- 2) 「常陸はなよめ」は、花色がピンク (RHS カラーチャート: 68D) で (表 1)、白の条斑とぼかしが入る (図 1)。
- 3) 花の大きさは 11cm 程度の大輪系である (表 1、図 1)。
- 4) 季咲き栽培における到花日数は 95 日程度で、「トラベラ」や「舞姫」よりも 3～6 日程度遅いが (表 1)、抑制栽培では「トラベラ」と差がない (データ省略)。
- 5) 木子の着生数は「トラベラ」の 2 倍程度である (表 1)。
- 6) 市場評価は、花色、花の形、花の大きさ、商品性のいずれも優れており、ピンク系の主力品種「トラベラ」よりも高い (図 2)。また、一年を通して需要が期待でき、業務、小売り、稽古の用途に利用可能である (データ省略)。
- 7) 現地試験における生産者評価は、「トラベラ」に比べ、収量、作りやすさ、病虫害発生、切り花品質、総合評価のいずれも優れており (図 3)、全ての作型で導入希望がある。

### 3. 成果の活用面・留意点

- 1) 「常陸はなよめ」は平成 24 年 1 月に品種登録された。
- 2) 県内の季咲き、抑制栽培に適する品種である。
- 3) グラジオラスは連作を嫌うので、同じ圃場では 4～5 年栽培しない。
- 4) 球根は茨城県グラジオラス球根協会を通して県内生産農家に配布する。

#### 4. 具体的データ



図1 「常陸はなよめ」の花容

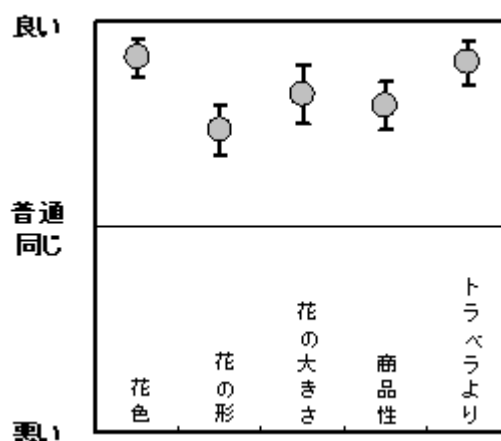


図2 「常陸はなよめ」の市場評価(平成19年)

表1 グラジオラス「常陸はなよめ」の特性(平成20年、笠間市安居)

品種・系統	草丈 (cm)	葉長 (cm)	花径 (cm)	花穂長 (cm)	花数 (個)	同時開花数 (個)	花色	開花期 (月/日)	到花日数 (日)	木子着生数 (個/株)
常陸はなよめ	139.5	102.4	11.3	58.1	19.0	5.5	ピンク(68D)	7/19	95	68.7
トラベラ	126.9	78.7	9.6	56.3	15.8	6.4	ピンク(62B)	7/13	89	37.1
舞姫	148.4	76.9	10.9	58.5	17.6	5.3	ピンク(N66C)	7/16	92	—

注)4月15日定植、露地季咲き栽培による。花色の()内はRHSカラーチャートによる。

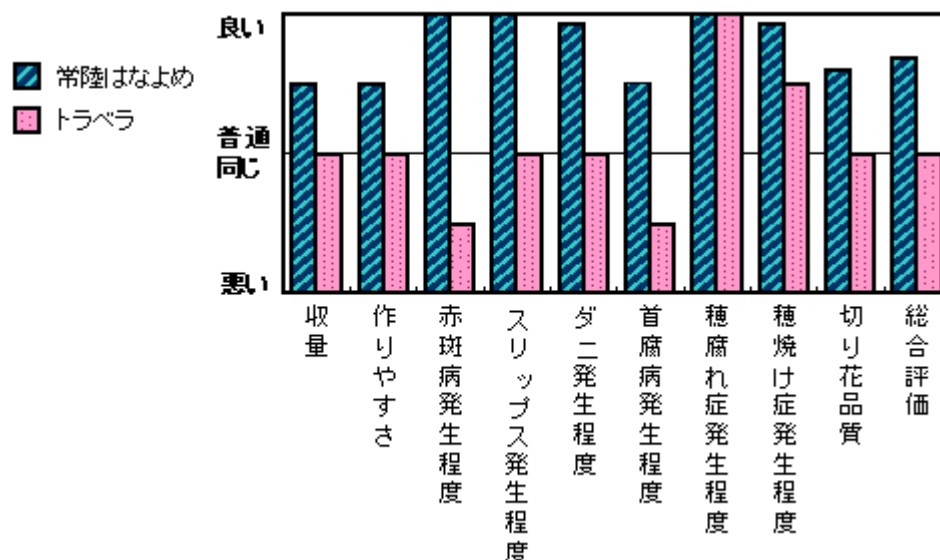


図3 グラジオラス「常陸はなよめ」の生産者評価(平成20年)

#### 5. 試験課題名・試験期間・担当研究

- 1) 新品種育成普及促進事業・平成6年度～21年度・生物工学研究所果樹花き育種研究室
- 2) 新品種育成普及促進事業・平成19年度～21年度・園芸研究所花き研究室